

第1回 通学区見直し【南部】ワークショップ グループワークまとめ

- ①子どもの学びで大切にしたいこと
- ②学校規模・通学距離等の観点で懸念されること

上記2点について話し合っていました。

その時のご意見を①については抜粋を、②については各グループで「特に重要だ」と印を付けたものを抽出しました。



子どもの学びで大切にしたいこと(抜粋)

- 休み時間は外遊びができる
- 学校が楽しい場所であること
- 地域との関連性
- 安全・安心に過ごせる環境
- 災害時対応がしっかりしている町へ
- 自由にのびのびと
- 地域で見守ること
- 特別教室の充実
- 自然とのふれあい
- 同年齢の子どもが近所にいる

学校規模・通学距離等の観点で懸念されること

通学(安全)

- 開発中の道路、交通量が多い道を通らなければならない
- 危険個所が多い
- 液状化、川の氾濫
- 大きな道路、信号のないところを渡ること
- 下校時刻に犯罪が多いが見守りがいない
- エリアによる温度差がある(見守り活動の)
- 通学区域の見直しで通学路で新たな危険が出てしまう
- 信号機がない道があるので危ない。歩行者と車道が分かれていないところが危ない。安全な通学路がない。

通学(距離)

- 通学距離が遠い(2km~3km遠い)

学校規模・通学距離等の観点で懸念されること

学校規模

- 児童が多いことで既存の施設に制約がかかる
- 先生が忙しすぎる。余裕を持ってほしい。先生の数を増やしてほしい
- みんなで公平に学べない・遊べない
- 特別教室が不足する
- グラウンドが小さく行事に支障
- 子どもの人数が多すぎて心に余裕がない
- 子どもが多いと先生が目が行き届かない
- 人数が多すぎることで環境に差が出てしまう。教育にも差が出てしまう。

その他

- 友達や地域との関係性が薄くなる
- 子ども会に入っていた関係で学区が分かれている。
- 慣例学区は子の気持ちが尊重されていない